

浮世絵動物園

前期:4月1日(土)~4月26日(水) 後期:5月2日(火)~5月28日(日)

※所蔵は、記載以外は太田記念美術館蔵です。

※期間中、展示替えをおこないます。塗りつぶし部分が各作品の展示期間となります。

※展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

	絵師名	作品名	所蔵	年代	前期	後期
1階	祇園井特	狛をつれた美人図	絹本一幅	享和-文政6年(1801-1823)頃		
	礪川亭永理画/ 大田南畝賛	犬と立美人図	絹本一幅	寛政期(1789-1801)頃		
	北尾重政画/真 巖賛	見立普賢菩薩図	絹本一幅	寛政10年(1798)頃		
	月岡雪鼎	猿かに図	紙本一幅	安永7-天明6年(1778-86)		
	河鍋暁斎	目白に蛙図	絹本一幅	明治5-22年(1872-89)		
	歌川芳豊	中天竺馬爾加国出生新渡舶来大象之図		文久3年(1863)		
	河鍋暁斎	天竺渡来大評判 象の戯遊		文久3年(1863)4月		
	歌川国芳	里すゞめねぐらの仮宿		弘化3年(1846)		
	歌川芳藤	廓通色々青樓全盛		慶応3年(1867)6月		
	落合芳幾	諸鳥芸づくし		安政6年(1859)9月		
	河鍋暁斎	風流蛙大合戦之図	個人蔵	元治元年(1864)		
	歌川国芳	ハツ当たり どふけかわほり (遠藤武者盛遠)	個人蔵	弘化2-3年(1845-46)		
	歌川国芳	道化十二支 卵のだんごや 蛇の目ずしの寅	個人蔵	天保12年(1841)頃		
	歌川芳員	東海道五十三次内 大磯 をだいらへ四り		嘉永6年(1853)9月		
	落合芳幾	見たて似たかきん魚		文久3年(1863)6月		
	二代歌川国明	しんはん猫つくし		明治16年(1883)2月20日御届		
	四代歌川国政	しん板ねづみのたわむれ		明治15年(1882)11月17日御届		
	大森善清	鍾旭 (『あやね竹』)		元禄15年(1702)		
	菊川英山	虎		文化(1804-18)頃		
	歌川芳艶	破奇術頼光袴垂為搦		安政5年(1858)4月		
歌川国貞(三代 歌川豊国)	豊国揮毫奇術競 岩鉄法印		元治元年(1864)5月			
歌川国貞(三代 歌川豊国)	中村雀之助の千崎弥五郎 十三代目市村羽左エ門の古猫の怪 四代目中村芝翫の須波 数右衛門		文久元年(1861)7月			
2階 通路	歌川国芳	源頼家公鎌倉小壺ノ海遊覧朝夷義秀雌雄鱔を捕ふ図		天保15-弘化3年(1844-46)		
	作者不詳	駄鳥		文政-文久(1818-67)頃		
	歌川国芳	人間万事愛婦美人八卦意 花鳥茶屋の夕照 駄		弘化4-嘉永元年(1847-48)頃		
	歌川国員	紅毛渡り名鳥		文久3年(1863)		
	服部雪斎	ウチハフグ		明治5年(1872)2月		
	服部雪斎	マンボウ		明治5年(1872)4月		
	服部雪斎	シビレエヒ		明治5年(1872)2月		
	河鍋暁斎	今昔珍物集	個人蔵	明治5年(1872)3月		
2階 のぞき ケース	歌川芳藤	毛だものあきんどつくし	個人蔵	明治3年(1870)4月御届		
	三代歌川広重	円窓雑画		明治前期(1868-94)頃		
	歌川国芳	木曾街道六十九次之内 望月 怪童丸		嘉永5年(1852)6月		
	歌川国芳	源氏雲浮世画合 玉取蟹		天保14-弘化3年(1843-46)		
	歌川広重	龍		天保前期(1830-36)頃		
	歌川芳藤	鳥づくし		万延元年(1860)9月		
	葛飾北斎	『北斎漫画』二編		文化12年(1815)		
	歌川芳幾	東京日々新聞 六百九十七号		明治7年(1874)5月24日		
	歌川国貞(三代 歌川豊国)	江戸名所百人美女 四ッ谷		安政5年(1858)2月		
	山田抱玉	狂七十二候 立春 雨水		天保-嘉永(1830-54)頃		
	歌川広重	江都勝景 芝新銭坐之図		天保中期(1834-39)頃		
	2階 通路	鈴木春信	猫に蝶		明和2-7年(1765-70)頃	
月岡芳年		風俗三十二相 うるささう 寛政年間処女之風俗		明治21年(1888)3月御届		

	歌川国芳	山海愛度図会 はやくきめたい 播州高砂蝟		嘉永5年(1852)8月	
	歌川国芳	御奥の弾初		嘉永2-5年(1849-52)	
	溪斎英泉	当世好物八契 草双紙		文政6年(1823)頃	
	歌川広重	名所江戸百景 高輪うしまち		安政4年(1857)4月	
	溪斎英泉	秋葉常夜灯		文政(1818-30)前期頃	
	歌川国芳	教訓善悪 子僧揃	個人蔵	安政4年(1857)正月	
	歌川国貞(三代歌川豊国)	二丑 四好今様美人 金魚好		文久3年(1863)12月	
	歌川広重	月に兔		嘉永2-5年(1849-52)	
	昇斎一景	東京名所四十八景 浅草観世音雪中	個人蔵	明治4年(1871)8月	
	歌川広重	白梅に寿帯鳥		天保前期(1830-36)頃	
	歌川広重	燕子花に白鷺		天保前期(1830-36)頃	
	二代歌川広重	隅田川八景 白髭落馬		文久元年(1861)11月	
	二代歌川広重	諸国名所百景 肥前五島鯨漁の図		安政6年(1859)9月	
	歌川広重	東海道五拾三次之内 池鯉鮒 首夏馬市		天保4-7年(1833-36)頃	
	歌川広重	木曾海道六拾九次之内 五拾九 関ヶ原		天保7-9年(1836-38)頃	
	小林清親	陸海軍人高名鑑 浅川大尉二等兵木村源松氏		明治28年(1895)	
	葛飾北斎	東海道五十三次 七 藤沢		文化前中期(1804-11)頃	
	河鍋暁斎	東海道 高縄牛ごや		文久3年(1863)5月	
	歌川国芳	木菟に春駒		天保(1830-44)頃	
	歌川房種	源氏花鳥風月之内 鳥		慶応3年(1867)2月	
	作者不詳	鶴亀		安政4年(1857)	
	作者不詳	鼠の相撲		安永9年(1780)	
	歌川広重	東海道五十三次 四日市 無間道		嘉永4年(1851)	
	作者不詳	瓢箪二二		安政2年(1855)頃	
	歌川国輝	大集諸色の大きがり		慶応3年(1867)6月	
2階 のぞき ケース	二代歌川広重	諸国名所百景 伊豫峯越鳥坂網		万延2年(1861)	
	二代歌川広重	東海道 品川		慶応元-明治2年(1865-69)	
	歌川広重	木曾海道六拾九次之内 六拾六 恵智川		天保7-9年(1835-38)	
	歌川広重	名所江戸百景 簗輪金杉三河しま		安政4年(1857)閏5月	
	歌川広重	猿 鹿		天保中後期(1835-43)	
	北尾政美	猪を振り出す大黒		寛政3年(1791)	
	作者不詳	牛と印箋		安永10年(1781)	
	歌川豊広	寿老人に鹿		文化中期(1808-11)頃	
2階 通路	歌川国貞(三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 東本願寺		安政4年(1857)11月	
	歌川国貞(三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 葉けんぼり		安政5年(1858)3月	
	歌川国貞	風う花暦 撫子		文政10-天保13年(1827-42)頃	
	歌川国貞	美女競 辰巳		文政-天保(1818-44)頃	
	歌川国貞	当世相姓懐中鏡 喜瀬川 五暁		文政(1818-30)頃	
	歌川国貞	岩井桑三郎の傾城高尾		文政6年(1823)3月	
	歌川国貞	風流花暦 女郎花		文政10-天保13年(1827-42)頃	
	歌川国芳	小倉擬百人一首 左京太夫頭輔 梅の由兵衛 源兵衛堀源兵衛 長吉		弘化2-3年(1845-46)	
	歌川国貞(三代歌川豊国)	南郷力丸 芝翫		文久2年(1862)	
	歌川国貞(三代歌川豊国)・歌川芳虎	蛸狩當風俗		万延元年(1860)3月・文久2年(1862)4月	
	三島上龍	狢をつれた美人図		天保(1830-44)頃	
	月岡雪鼎	髪すき図		天明6年(1786)	
	北尾重政	美人戯猫図		天明5年(1785)	
	尾形月耕	甲子之図		明治中後期(1884-1912)頃	
	落合芳幾	猛虎之写真		万延元年(1860)7月	
	歌川広重	東都飛鳥山の図 王子道狐のよめ入		天保中後期(1834-44)頃	
	歌川広景	青物魚軍勢大合戦之図		安政6年(1859)10月	

歌川芳藤	兎の相撲		明治6年(1873)頃	
歌川芳虎	家内安全ヲ守 十二支之図		安政5年(1858)	
四代歌川国政	兎の草履打		元治元年~明治22年(1864~89)	
歌川貞秀	蛸踊り		天保10年(1839)	
歌川国芳	ハツ当たり どふけかふもり (助六)	個人蔵	弘化2-3年(1845-46)	
落合芳幾	見立似たかきん魚		文久3年(1863)6月	
四代歌川国政	しん板猫のそばや		明治6年(1873)10月	
歌川芳藤	しん板猫のたわむれ踊のをさらみ		明治前期(1868-88)頃	
北尾重政	虎	個人蔵	明和-天明(1764-89)頃	
歌川広重	獅子の兎落し		天保前期(1830-36)頃	
歌川芳虎	西海蜚女水底ニ入テ平家ノ一族ニ見		天保14-弘化2年(1843-45)	
歌川国芳	牛若鞍馬修行図		安政5年(1858)4月	
歌川国芳	五十三駅 岡崎		弘化4年(1847)頃	
河鍋暁斎	東海道名所之内 秋葉山		文久3年(1863)5月	
河鍋暁斎	天竺渡来大評判 象の戯遊	個人蔵	文久3年(1863)4月	
歌川貞秀	生写異国人物 魯西亜人 飼羅紗羊之図		万延元年(1860)11月	
服部雪斎	サンセウウヲ		明治5年(1872)3月	
服部雪斎	ヲサガメ アサノハガメ		明治5年(1872)2月	
河鍋暁斎	博覧会博物ノ図	個人蔵	明治5年(1872)3月	
作者不詳	教育訓画 動物第廿六 いつかく		明治19年(1886)1月15日御届	
歌川国芳	蝦蟇手本ひやうきんぐら 三段目 四段目		弘化4年(1847)頃	
歌川国芳	誠忠義臣名々鏡 間瀬忠太夫正明		安政4年(1857)6月	
作者不詳	桃太郎と金太郎		明治元-明治2年(1868-1869年)頃	
歌川国芳	道化なまつ尽 其五 其六		嘉永-安政(1846-60)頃	
歌川芳藤	しん板たぬきつくし	個人蔵	安政6年(1859)11月	
歌川国貞	豊国揮毫奇術競 須美津冠者義高		文久元年(1861)12月	
葛飾北斎	『北斎漫画』二編		文化12年(1815)	
一橋斎艶長	新板魚づくし		万延-明治8年(1860-75)頃	
歌川広重	名所江戸百景 浅草田甫酉の町詣		安政4年(1857)11月	
鈴木春信	風流五色墨 素丸		明和2-7年(1765-70)頃	
歌川国芳	山海愛度図会 ヲいいたい 越中滑川大蛸	個人蔵	嘉永5年(1852)8月	
歌川国芳	山海愛度図会 えりをぬきたい 遠江須之股川鱈		嘉永5年(1852)12月	
梅堂小国政	猫		明治後半(1887-1912)頃	
葛飾北斎	狎		天保4年(1833)	
歌川国芳	東都名所 両国柳ばし		天保3-4年(1832-33)頃	
歌川国芳	教訓善悪 子僧揃	個人蔵	安政4年(1857)正月	
歌川国貞(三代歌川豊国)	小倉擬百人一首 周防内侍 白井権八		弘化3年(1846)	
歌川広重	江戸名所之内 芝神明社内之図		天保13-弘化4年(1842-47)頃	
溪斎英泉	契情道中双嫁 岡部 尾張屋内糸にし 見立よしわら五十三つみ		文政8年(1825)頃	
魚屋北溪	花園番続 鶯舌梅		文政6年(1823)	
歌川広重	紫陽花に川蝉		天保前期(1830-36)頃	
歌川広重	菊に雉子		天保前期(1830-36)頃	
溪斎英泉	岐阻路ノ駅河渡 長柄川鶴飼船		天保6-7年(1835-36)頃	
歌川豊春	浮絵熊野浦鯨突之図		明和-安永(1764-81)頃	
二代歌川広重	諸国名所百景 若狭かれみを制す		安政6年(1859)12月	
歌川広重	名所江戸百景 四ッ谷内藤新宿		安政4年(1857)11月	
小林清親	陸海軍人高名鑑 第三師団長 陸軍中将桂太郎君		明治28年(1895)2月	
葛飾北斎	江之島		享和(1801-04)頃	
歌川広重	木曾海道六拾九次之内 七拾 大津		天保7-9年(1836-38)頃	
豊原国周	見立昼夜廿四時之内 午後八時		明治24年(1891)1月	
葛飾北斎	『北斎漫画』十四編		嘉永2年(1849)頃	
歌川国貞	江戸自慢 洲崎廿六夜		文政4年(1821)	

歌川広重	忠臣蔵 敵討引取		天保14-弘化4年(1843-47)頃	
歌川広重	東海道五十三次之内 四日市 参宮道追分之図		天保12-13年(1841-42)頃	
歌川芳形	東海道 藤沢		文久3年(1863)	
歌川国貞	東海道五十三次之内 京三條大橋		天保5-6年(1834-35)頃	
歌川芳虎	春駒		天保-明治前期(1830-82)頃	
葛飾北斎	馬尽 駒下駄		文政5年(1822)	
月岡芳年	東海道名所之内 由比ヶ浜		文久3年(1863)5月	
歌川広重	名所江戸百景 深川万年橋		安政4年(1857)11月	
歌川広重	伊勢参宮宮川の渡し		安政2年(1855)4月	
河鍋暁斎	海上安全万代寿		文久3年(1863)7月	
作者不詳	地震のすちやらか		安政2年(1855)頃	
鈴木春信	見立費長房		明和2年(1765)	
窪俊満	猿曳と萬歳		天明3-文化(1783-1818)頃	
磯田湖龍齋	鼠の嫁入り		安永9年(1780)	
作者不詳	牛引く童子		安永10年(1781)	
天然子	子犬と亀		江戸時代後期	
歌川国貞	浄瑠璃つくし 傾城恋飛脚 梅川忠兵衛 新口村の段		文政12年(1829)頃	
溪斎英泉	当世松の葉 一仲節		文政(1818-30)後期頃	
歌川国貞	今世斗計十二時 酉ノ刻		文化-文政(1804-30)頃	
溪斎英泉	契情六佳撰 姿海老屋内姿野 小野小町		文政11-13年(1828-30)頃	
歌川国貞	時世百化鳥 梅がえにてるづ蜂		文政10-天保13年(1827-42)頃	
歌川国貞	江戸自慢 仲の町燈籠		文政4年(1821)	
歌川豊国	三代目坂東彦三郎の曾我十郎		寛政8年(1796)正月	
歌川国貞(三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 高縄		安政4年(1857)11月	
豊原国周	俳優白浪當達者 日本駄右工門 二代目沢村訥升		元治元年(1864)5月	
歌川国貞(三代歌川豊国)	近世水滸伝 夏日子僧新助 岩井桑三郎		文久元年(1861)7月	
歌川国貞(三代歌川豊国)	近世水滸伝 競力富五郎 中村芝翫		文久元年(1861)6月	

